

余市町地域公共交通活性化協議会

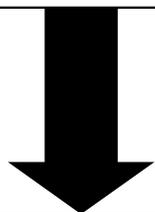
令和6年度の交通広場の 検討方針、検討進捗報告

余市町 総合政策部 政策推進課

令和6年度の交通広場の検討方針

令和5年度

- ・北海道新幹線札幌開業に伴い、2030年に鉄道（JR余市駅）が廃止されることを踏まえ、並行在来線代替バスの運行等を考慮した新たな公共交通ネットワークを結ぶ交通広場を検討。
- ・交通広場の整備は、JR余市駅が廃止となる2030年までに完成するスケジュールにて事業化する計画として検討。
- ・並行在来線代替バスの運行サービスは、北海道新幹線並行在来線対策協議会での公表値に基づき、バスなどの交通施設数を設定、時刻表レベルで提供される運行サービスへの配慮は、次年度以降の申し送りとして検討。
- ・レイアウトの検討にあたっては、廃線後のJR跡地の活用も視野に入れ、暫定案を組合わせた比較案を検討。



北海道新幹線札幌開業は、2030年度末完成・開業の目標達成は極めて困難であることが公表される
北海道新幹線並行在来線対策協議会 第17回後志ブロック会議資料（令和6年8月28日）

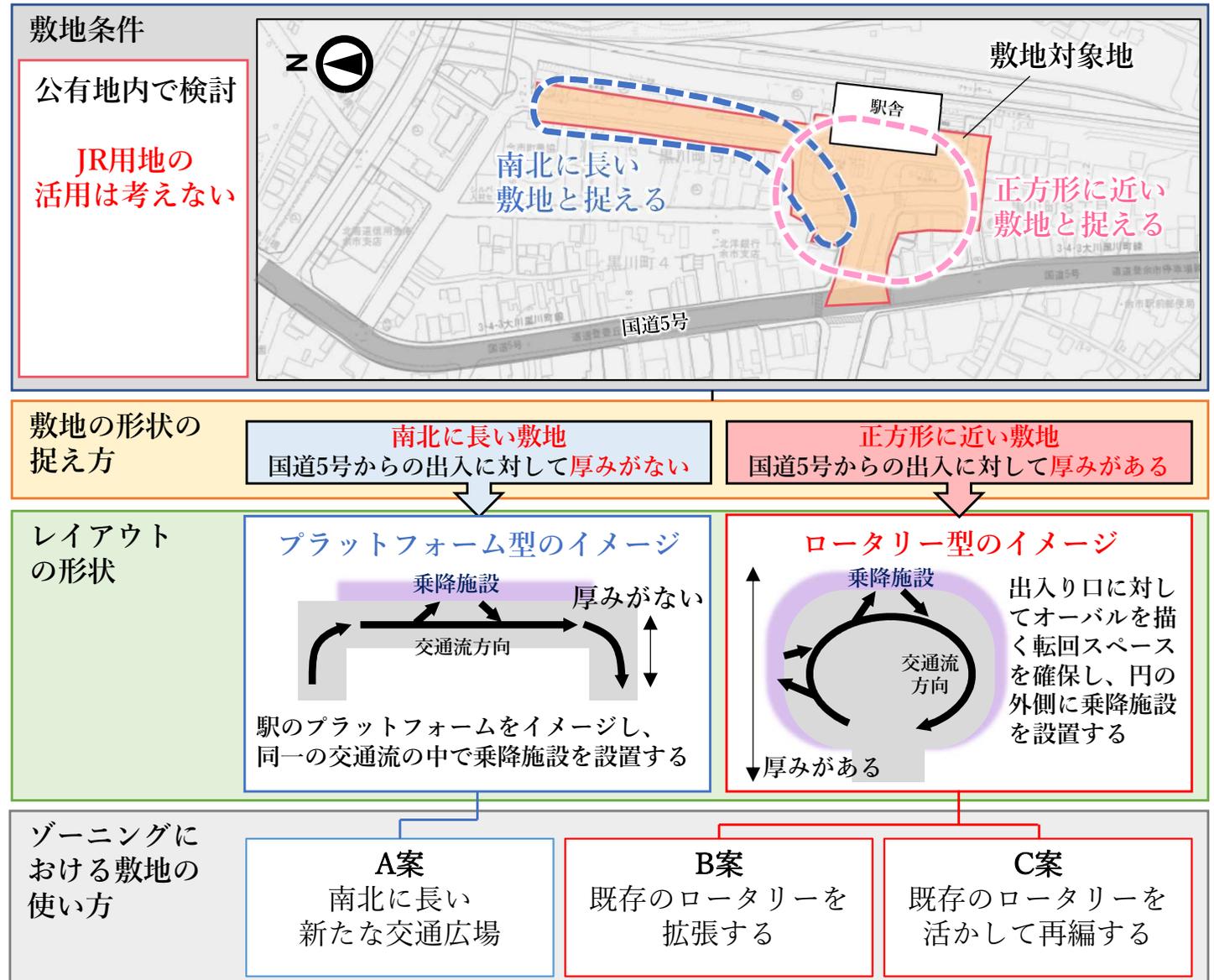
令和6年度

- ・物価高騰や建設業界における人手不足といった昨今の社会情勢から、交通広場の再編整備については後ろ倒しになるほど事業の確実性が下がることが懸念され、北海道新幹線札幌開業のスケジュールは未だ不明であり、スケジュールが明確になる時期さえ不透明な状況となっている。
- ・町内のバス利用者は高速バスや余市線利用の割合が多く、自宅からの送迎も踏まえた乗降環境の改善が必要。
- ・上記より、本事業は北海道新幹線札幌開業のスケジュールに寄らず、整備着手可能な案を検討。
- ・現段階においては廃線後のJR跡地の活用は考えず、現在の交通広場を中心に公有地内でのレイアウトを比較検討。※JR跡地の活用については将来的な検討項目とする。
- ・バスやタクシーなどの交通施設の規模数（バース数）については、北海道新幹線並行在来線対策協議会での公表情報に変更・更新がないことから、令和5年度の検討結果を踏襲。

新たな交通広場のレイアウト案

■レイアウト検討に関する敷地条件と形状の捉え方

交通広場のレイアウトの検討にあたっては、敷地の形状的な特性からレイアウトの方針を検討するものとする。敷地形状の捉え方は、敷地が「南北に長い（国道5号からの出入に対して厚みがない）」「正方形に近い（国道5号からの出入に対して厚みがある）」の2通りの考え方ができ、それぞれに適する形状の型（プラットフォーム型／ロータリー型）をイメージしながら検討する。



新たな交通広場のレイアウト案

①ゾーニング図

■レイアウト案 A案

【レイアウト形状】

・プラットフォーム型のイメージ。

【検討方針】

・南北の縦長の形状を捉え、バスやタクシーを駅のプラットフォームのように乗降させる。

【利点】

・交通施設は、ロータリー型のように転回しないで交通処理を行うため、交通島のようなデッドスペースが生まれない。

【配慮事項（課題事項）】

・進入と退出が別口となり、南側からのアクセスに迂回感を感じる。

・現道に通行規制をかけて交通処理の流れを揃えるほうが、さらに安全かつ円滑に処理可能。



新たな交通広場のレイアウト案

①ゾーニング図

■レイアウト案 B案

【レイアウト形状】

- ・ロータリー型のイメージ。

【検討方針】

- ・国道5号の余市駅前十字街交差点を進入と退出とし、転回させて交通処理を行う。
- ・現在より大きなロータリー環状とし、ゆったりとした乗降や転回を行う。

【利点】

- ・現在のロータリーの形状を活かせる。

【配慮事項（課題事項）】

- ・一部、歩道をつなげることから、地区内交通規制の変更が生じる。



新たな交通広場のレイアウト案

①ゾーニング図

■レイアウト案 C案

【レイアウト形状】

- ・ロータリー型のイメージ。

【検討方針】

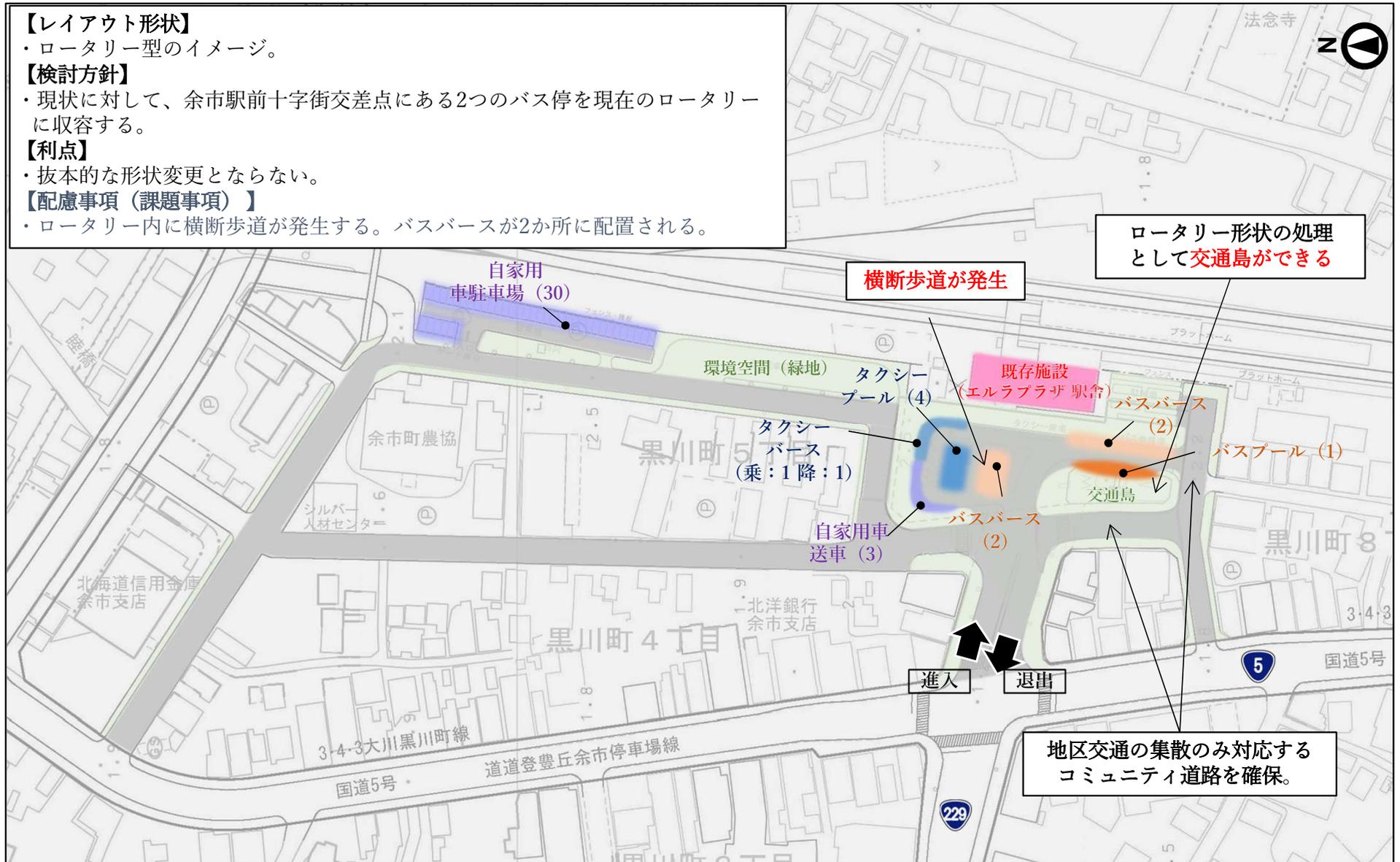
- ・現状に対して、余市駅前十字街交差点にある2つのバス停を現在のロータリーに収容する。

【利点】

- ・抜本的な形状変更とならない。

【配慮事項（課題事項）】

- ・ロータリー内に横断歩道が発生する。バスバースが2か所に配置される。



新たな交通広場のレイアウト案

②各案の特徴比較の整理

		A案	B案	C案
レイアウトの特徴	敷地形状	南北に細長い形状	厚みのある形状	厚みのある形状
	レイアウト形状	プラットフォーム型	ロータリー型	ロータリー型
基本方針① 新たな交通サービスをつなげる場づくり	バスの旋回迂回感	旋回は緩やか、迂回感がある	きつい旋回や迂回感はほぼない	きつい旋回を強いるバスバースあり
	乗り場と現駅舎との配置関係	やや遠い	近い	近い
基本方針② 交通結節以外の付加価値を届ける場づくり	広場の規模、配置	広いまとまった空間を確保	細長い空間を確保	細長い空間を確保
	広場の活用の汎用性	集客イベントにも活用可能	集客イベント利用は困難	集客イベント利用は困難
基本方針③ 広がりのある場づくり	周辺街区への移動の際の歩行者動線	複数生じない	横断歩道が複数生じる	乗降に際してロータリー内で横断歩道が生じる
	周辺街区との関連	広場の賑わい利活用と親和性が高い	広場が周辺民地側とほとんど接することがない	広場が周辺民地側とほとんど接することがない
その他 事業性や条件	必要条件等	周辺街路のネットワーク再編が一部、必要（通行規制）	周辺街路のネットワークの再編が一部、必要（通行規制）	周辺街路のネットワークの再編が必要とならない
	除雪性	雪堆積スペースが確保可能	雪堆積スペースが確保可能	雪堆積スペースが確保可能
事業費	事業費は、A>B>Cの順番に大きいが、差異は小さい			